

令和7年度

運営に関する計画

最終評価

大阪市立鶴橋幼稚園

令和8年2月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

鶴橋幼稚園は、身近な環境に好奇心や探求心をもつ子ども、生活の中できまりや約束を守る子どもを育てることを目指して保育を実践し、また、基本的な生活習慣を身につけ、自分の身の回りの始末や身体を清潔に整えることの大切さを知らせる取組を行っている。

子どもたちを取り巻く様々な状況を踏まえ、避難訓練の充実、また安全指導の工夫などを図りながら、今年度も、幼児期に身に付けておきたい安全に対する意識をしっかりと指導・援助していきたいと考える。

近年、園児数が減少し、身近な人との関わりを通して、親しみや信頼感をもつ経験をより大切にしていきたいと取り組んできている。今年度も、小学生や他幼稚園の園児、また地域の方々などとの交流活動の工夫をしながら、刺激を受けたり、親しみや憧れ、感謝の気持ちをもったり、思いやりの心が育ったりすることができるように、働きかけていく。

広い園庭でのびのびと体を動かして遊んだり、友達や教師と一緒に音楽に合わせて体を動かす心地よさを十分に味わったりすることができるように、引き続き、子どもの興味関心を探りながら体を動かしたくなる環境づくりを再構成していきたい。

また、子どもが規則正しい生活習慣を身につけながら、自分の身体に関心をもったり、健康な身体づくりに興味をもったりすることができるような、保健指導や食育の工夫を行っていく。

これらの教育活動について、引き続き、手紙やホームページ、保護者会などを活用し、教職員全員で幼稚園の取組内容や子どもの姿を発信し、自園の良さを広くアピールしていきたい。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

○令和7年度末のアンケート調査で、約束やきまりを守って生活するようになったとする項目について「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合を80%以上にする。

- ・安全に生活するための約束や決まりを知り、守ろうとする子どもを育てる。
- ・身近な人との関わりを通して、親しみを深め、思いやりの気持ちを育む。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7年度末の保護者アンケート調査で、幼稚園は豊かな経験を通して、感性豊かな子どもの育成に努めているとする項目について「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合を80%にする。

- ・自分なりに表現しようとする子どもを育て、自己肯定感を育む。

○令和7年度末の保護者アンケート調査で、自分の身体を大切にして健康的な生活習慣を身につけるとする項目について「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合を80%にする。

- ・基本的な生活習慣を知らせ、身につくようにする。

○令和7年度末の保護者アンケート調査で、体を動かして遊ぶことの好きな子どもを育てるとする項目について「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合を80%以上にする。

- ・体を動かして遊ぶことの好きな子どもを育てる。

【学びを支える教育環境の充実】

○令和7年度末のアンケート調査で、幼稚園は保護者・地域との連携を密にとっているとする項目について「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合を80%以上にする。

- ・家庭や地域に幼稚園の取組内容を知らせる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心教育の推進】

学校園の年度目標

○令和7年度末のアンケート調査で、約束やきまりを守って生活するようになった人とする項目について「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合を85%以上を維持する。

・安全に生活するための約束や決まりを知り、守ろうとする子どもを育てる。

○令和7年度末のアンケート調査で、人との関わりを深め、思いやりの気持ちが育ったとする項目について「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合を85%以上を維持する。

・身近な人との関わりを通して、親しみを深め、思いやりの気持ちを育む。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

○令和7年度末の保護者アンケート調査で、幼稚園は豊かな経験を通して、感性豊かな子どもの育成に努めているとする項目について「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合を85%以上を維持する。

・自分なりに表現しようとする子どもを育て、自己肯定感を育む。

○令和7年度末の保護者アンケート調査で、自分の身体を大切にして基本的な生活習慣を身につけるとする項目について「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合を85%以上を維持する。

・基本的な生活習慣を知らせ、身につくようにする。

○令和7年度末の保護者アンケート調査で、体を動かして遊ぶことの好きな子どもを育てるとする項目について「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合を85%以上を維持する。

・体を動かして遊ぶことの好きな子どもを育てる。

【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

○令和7年度末のアンケート調査で、幼稚園は保護者・地域との連携を密にとっているとする項目について「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合を85%以上を維持する。

・家庭や地域に幼稚園の取組内容を知らせる。

3 本年度の自己評価結果の総括

・「安全・安心な教育の推進」

幼稚園は、安心・安全な場所であるということを最優先に考え、全教職員で共有しながら見守り支えてきた。子どもの実態に合わせた環境構成の見直しや安全指導を実践してきたことで、自己を表現しながらのびのびと園生活を送ることにつながった。

・「未来を切り拓く学力・体力の向上」

子どもは幼稚園で様々な経験を通して、豊かな感性を育み、また心身ともに育つことを保育の基盤とし、保育内容の工夫を図った。子ども一人一人に応じたねらいのもと、指導や援助に取り組み、資質向上にもつなげた。また、保健指導を積み重ね、子どもが基本的な生活習慣を身につけることができた。

・「学びを支える教育環境の充実」

近隣の小学校、支援学校、幼稚園などの他機関とのつながりを大切にし、その中での交流を通して、人と関わる楽しさを味わったり、憧れの気持ちをもったりなどしながら豊かな心の育ちにつながった。また、地域の方々の協力のもと、地域連携が継続されている。交流を通して、自分たちが住む地域や様々な人に親しみをもったり、見守られていることに感謝の気持ちをもったりすることができた。

(様式2)

大阪市立鶴橋幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 学校園の年度目標 ○令和7年度末のアンケート調査で、約束やきまりを守って生活するようになったとする項目について「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合を85%以上を維持する。 ・安全に生活するための約束や決まりを知り、守ろうとする子どもを育てる。 ○令和7年度末のアンケート調査で、人との関わりを深め、思いやりの気持ちが育ったとする項目について「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合を85%以上を維持する。 ・身近な人との関わりを通して、親しみを深め、思いやりの気持ちを育む。	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】 ○安全に生活するための約束や決まりを知り、守ろうとする子どもを育てる。 指標 ・安全指導の年間計画に基づき、避難訓練を年に8回以上実施し、子どもへの指導を行う。 ・学期に1回以上、園内の清掃活動を行い、身の周りの環境を整える。	A
取組内容②【基本的な方向2、豊かな心の育成】 ○身近な人との関わりを通して、親しみを深め、思いやりの気持ちを育む。 指標 ・月に1回以上、季節の歌を一緒に歌ったり、なかよし遊びやダンスなどを一緒にしたりする。 ・異校種や地域と連携を図り、計画的に交流を行う。 ・月に1回以上、未就園児(つるのこ広場・水曜日)と体操やダンスなどを一緒にする。	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
取組内容① ・下記の通り、年間計画に基づき避難訓練を実施した。 4月:(火災想定訓練) 5月:(火災想定訓練・火災想定及び消火訓練 計2回) 6月:(地震津波発生・引き取り訓練) 7月:(地震想定訓練) 9月:(火災想定訓練) 11月:(880万人訓練) 12月:(防犯教室) 1月:(小学校合同訓練) 2月:(不審者対応訓練) 訓練を重ねる中で、避難の仕方や約束を繰り返し指導し、しっかりと指示を聞き落ち着いて行動するようになった。また、非常ベルの合図だけでなく、園内の放送やまた小学校から流れる防災無線などにおいても、意識することができるようになった。火災想定避難の後に消防署の方の立会いのもと、教職員に向けて水消火器による消火訓練を実施した。非常時の適切な行動について、教職員の意識を高め、安全啓発につながった。保護者においても、大津波警報発令による緊急連絡のあと、各自小学校へ引き取りに来る訓練を実施し、家庭と連携した訓練に取り組むことができた。また、2学期に警察署の方に来ていただき、子どもたちに向けて防犯指導をしていただいた。その後3学期に不審者対応の避難訓練を実施したことで、より子どもの安全意識を高めることができた。不審者対応については教職員同士の連携について考える機会となっている。

- ・ 1、2学期の終業式に保護者と一緒に園内清掃に取り組み、子どもたちは、保育室内のロッカーや幼児椅子、靴箱や床など、日頃使用している身の周りのところを掃いたり拭いたりし、それぞれ丁寧に清掃活動に取り組む姿が見られた。また、保護者には、日頃子どもが手の届かない、園内の窓や扉のサッシの清掃に協力していただき、新学期を気持ちよく迎える準備とすることができた。また、日常的にも昼食後の清掃をしたり、降園前に保育室の整理整頓を行ったりするようにしていくことで、身の回りの環境を整えることにつながってきた。

取組内容②

- ・ 年間計画に基づき、子どもの実態に合わせ計画を変更しながら、季節や行事に親しみながら一緒に歌ったり、手遊びをしたりすることができた。2月の生活発表会では、全園児で共通の歌を歌ったことで、より自信をもって楽しく歌う姿が見られた。また、各クラスで歌っている歌を聴き合う機会となり、その後も互いに口ずさむ姿も見られ、様々な曲に興味をもつことにつながった。定期的実施してきた集会を通しては、異年齢交流として5歳児と4歳児のペアでなかよし遊びをしてふれあいを楽しんできた。園外保育の前には、一緒に手をつないで歩くペアとなかよし遊びをすることで、親しみをもったり期待をもったりすることにつながった。
- ・ 5歳児を中心に、鶴橋小学校との交流、生野聴覚支援学校との交流、他園との交流など年間を通して計画的に進めてきた。鶴橋小学校とは幼稚園に来てもらって一緒に夏祭りやプール交流をしたり、作品展を見に来てもらったり、「つるのこお楽しみデー」も一緒に鑑賞したりした。また小学校へも行かせてもらい、6年生とのプール交流や、おもちゃランドへの参加、学習発表会のリハーサル見学などにおいて連携を進めてきた。また、園庭を生活科や理科の授業で活用される機会が数回あったことで、小学生の様子を身近に見ることができて、子どもたちは憧れや親しみを感じることもできた。3月には、1年生との給食参観・交流も予定されている。

地域交流としては、昨年度に引き続き、地域の老人会に参加させていただき、歌を聴いてもらったり、一緒にふれあい遊びをしたりして、子どもたちは地域の方々に親しみと愛着をもつことができ、身近な人に見守られているという安心感につながった。

- ・ つるのこ広場の実施を今年度より、月曜日が比較的雨天が多く実施することが難しかったので水曜日に行い、年度末までに18回実施した。子どもたちは「今日はつるのこ広場で小さなお友達が遊びに来る日！」と言って楽しみにしていた。5歳児は受付でシールを貼ったり、名前を覚えて一緒に遊んだりして小さな友達への優しい気持ちが育った。4歳児も自分たちが5歳児にしてもらった経験や来年度5歳児になるという進級への期待の気持ちから、積極的に未就園児に関わろうとする姿が見られた。

取組内容①について、保護者アンケートで、約束やきまりを守って生活するようになったとする項目について「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合は、91%であった。

取組内容②について、保護者アンケートで、人との関わりを深め、思いやりの気持ちが育ったとする項目について「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合は、93%であった。

次年度に向けての改善点

取組内容①

- ・ 避難訓練の内容の想定について、バランスよく計画、実施していくようにする。

取組内容②

- ・ 季節や行事に触れた様々な歌に親しみをもてるようにする。また、引き続き、集会などの異年齢交流の機会を設ける。
- ・ つるのこ広場を実施しているが、なかなか未就園児の子ども数が少ないのが現状である。雨天では園庭で遊ぶことが困難なので中止にしているが、雨天でも在園児と一緒に保育室で遊べるようにするとつるのこ広場が定着し、集客につながるのではないかと。

大阪市立鶴橋幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○令和7年度末の保護者アンケート調査で、幼稚園は豊かな経験を通して、感性豊かな子どもの育成に努めているとする項目について「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合を85%以上を維持する。</p> <p>・ 自分なりに表現しようとする子どもを育て、自己肯定感を育む。</p> <p>○令和7年度末の保護者アンケート調査で、自分の身体を大切にして健康的な生活習慣を身につけるとする項目について「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合を85%以上を維持する。</p> <p>・ 基本的な生活習慣を知らせ、身につくようにする。</p> <p>○令和7年度末の保護者アンケート調査で、体を動かして遊ぶことの好きな子どもを育てるとする項目について「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合を85%以上を維持する。</p> <p>・ 体を動かして遊ぶことの好きな子どもを育てる。</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向3、幼児教育の推進と質の向上】</p> <p>○自分なりに表現しようとする子どもを育て、自己肯定感を育む。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就学前教育カリキュラムを活用し、子どもが自分なりに表現する楽しさを味わうことができるよう、様々な保育活動の工夫をし、月に1回環境の見直しや教材研究に努める。 ・ 学期に1回以上保護者に取組内容を知らせる。 	A
<p>取組内容②【基本的な方向5、健やかな体の育成】</p> <p>○基本的な生活習慣を知らせ、身につくようにする。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年齢に合わせた視覚教材を用いて楽しい保健指導を月1回行う。 ・ 実施した保健指導の内容を保健だよりとして年10回以上配布し、保護者への啓発を行う。 ・ 年に10回以上、野菜チャレンジデーを設け、日々の弁当の充実を図るとともに栽培活動を通して食について興味関心を高められるようにする。 ・ 弁当のおかずアンケートを行ったりお弁当だよりを学期に1回発行したりして保護者への啓発を行う。 	A
<p>取組内容③【基本的な方向3、幼児教育の推進と質の向上】</p> <p>○体を動かして遊ぶことの好きな子どもを育てる。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体操やダンスの年間計画を立て、学期に3回以上集会を行う。 	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①

- ・毎週木曜日、担任同士でその週の振り返りと次週の週案の検討会を実施した。子どもの興味関心について実態を共有し、それらを踏まえた保育活動の検討を行い、活動内容の工夫や環境構成についてなど、「就学前教育カリキュラム」を基に話し合い、互いの学びにつなげた。その中で、ダンスのステージを設けたり、手作り楽器を披露する機会を設けたり、手づくり絵本やペープサートで遊ぶコーナーを設けたりなど、環境構成の工夫を図り、より子どもが表現する楽しさを味わうことができるようにした。また、園内研究保育を実施し、総合教育センター指導員より、保育指導案についてや、保育実践についての助言を仰ぎ、資質向上につなげた。
- ・月1回の「クラスだより」を配布し、各クラスの保育活動の様子の写真と、またそれらの活動のねらいと、教師の働きかけを明確にした文章とともに明記して、保護者発信につなげてきた。また、学級懇談会や個人懇談会において、子どもたちの育ちを共有する機会とした。2学期末の保護者会では、パワーポイントを用いて子どもの園生活の様子写真を用いて、教育内容の説明を行った。その際に「就学前教育カリキュラム」の「知、徳、体」を踏まえて話をする中で、就学までに育てたいことを明確にすることができ、保護者理解につながった。

取組内容②

- ・年間計画に基づき、保健指導を計11回行った。4月「保健室探検・プライベートパーツについて」5月「手洗いについて」6月「歯みがき指導・噛むことの大切さについて」7月「熱中症について」「着替えに重点をおいた指導（生命の安全教育）」9月「けがの予防について」10月「体の名前について・三色食品群について」11月「歯みがきクイズ・六歳臼歯について」12月「手洗い、うがいについて」1月「ふわふわ言葉、ちくちく言葉（生命の安全教育）」2月「排便指導（お尻の拭き方）・和式便所の使い方」を年齢に合わせた視覚教材を用いて、分かりやすくまた楽しく指導を受けることができるように、指導方法の工夫を図った。指導内容を保健室前や保育室前に掲示し、いつでも振り返られるようにしたことで、養護教諭だけでなく担任教諭とも連携をとって指導後の実態把握に努めることができた。3月には「1年間の保健指導の振り返り・生命について」の指導を予定している。また、毎月のほけんだよりやホームページに保健指導の内容や様子を掲載して知らせ、家庭でも声をかけてもらえるようにした。
- ・「野菜チャレンジデー」は、これまでに計18回行った。苦手な野菜に挑戦する姿が見られるようになり、保護者も苦手な食材を食べやすいように工夫して調理している様子が伺える。
- ・「おべんとうだより」は、これまでに計2回発行した。保護者に「簡単にできるお弁当」アンケートをとり、その結果を知らせることで、おかずの充実を図った。3学期は3月頃に発行する予定である。今後も学校給食への円滑な移行、食育の推進になるよう啓発を続けていきたい。

取組内容③

- ・体操やダンス等の年間計画に基づいて実施し、クラスの友達や異年齢児に親しみがもてるように、定期的に集会を行った。5歳児が4歳児に声をかけ誘う姿や、4歳児が5歳児と一緒にすることを楽しみにして待つ姿が見られた。年間計画にあげた曲以外にも、5歳児が日常的にふれあい遊びに取り組み、それらを4歳児に知らせて一緒にすることで、音楽に合わせて体を動かして遊ぶ楽しさを味わうことができた。季節や興味関心に合わせ、取り組む教材を考え、それぞれのクラスや園全体で体を動かす機会を設けたことも、それぞれの曲に親しみをもちながら楽しむ姿につながった。
- ・戸外では、1学期は水遊びや泥遊びをしたりしながら全身を使って体を動かすことを楽しむ姿が見られ、また、登り棒や一本歯下駄、鉄棒など自分なりに様々な遊びに挑戦する姿も見られた。2学期は、運動会に向かって取り組む中で、さらに運動遊びが増えた。運動会後も、お互いの遊びに興味をもち、一緒に楽しんだり、挑戦したりする姿が見られた。2学期後半から、サッカーや鬼ごっこなど、ルールのある遊びを楽しんでいた。異年齢で日々、互いに誘い合って一緒に遊んでおり、日々

の交流が親しみをもつことにつながった。

取組内容①について、保護者アンケートで、幼稚園は豊かな経験を通して、感性豊かな子どもの育成に努めているとする項目について「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合は、96%であった。

取組内容②について、保護者アンケートで、自分の身体を大切にして健康的な生活習慣を身につけるとする項目について「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合は、100%であった。

取組内容③について、保護者アンケートで、体を動かして遊ぶことの好きな子どもを育てるとする項目について「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合は、100%であった。

次年度に向けての改善点

取組内容①

- ・各クラスの発達段階に応じた子どもの育ちを伝える機会を設け、さらに保護者発信につなげていく。

取組内容②

- ・引き続き、幼児の実態に応じた保健指導の内容を工夫していく。

取組内容③

- ・今後も、行事や生活の流れを大切にしながら、体を動かして遊ぶ楽しさが存分に味わえるようにしていく。

大阪市立立鶴橋幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○令和7年度末のアンケート調査で、幼稚園は保護者・地域との連携を密にとっているとする項目について、「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合を85%以上を維持する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域に幼稚園の取組内容を知らせる。 	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向9、家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</p> <p>○家庭や地域に幼稚園の教育内容や特色のある取組について知らせる。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回、つるのこだよりやクラスだよりを配布する。 ・月5回以上、ホームページで幼稚園の様子や取組みを知らせる。 	A
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスだよりは、年度末までに計11回(8・9月は合同のため)毎月月末に予定通り配布している。昨年度に引き続き、就学前教育カリキュラム「知・徳・体」の視点を踏まえた子どもの育まれた力を加えた。また、外国籍の保護者の方にも分かりやすいように写真も入れ、紙面上にし翻訳して読めるように工夫した。 ・つるのこだよりは、年度末までに計11回(8・9月は合同のため)毎月月初めに予定通り配布している。つるのこだよりでは、地域の方に幼稚園の保育内容を発信する機会となっている。今年度も鶴橋小学校と連携して一緒に地域に配布し、幼小連携の一環として幼稚園も地域の方に見守られている実感がある。未就園児活動や園児募集などもつるのこだよりに掲載しており、地域の方に向けて発信している。これからも地域の方に幼稚園のことを身近に感じていただけるように継続して取り組んでいきたい。 ・ホームページは教職員全員がいつでも発信できる環境で、毎月5回以上更新することができた。子どもの遊んでいる様子や幼稚園行事の様子など写真を交えて保護者や地域に向けて発信した。また自園は外国籍の子どもが多く在籍しているので、写真があると幼稚園の様子や取組が分かりやすく伝えることができる。ホームページは情報社会であるからこそ、いろいろな人に自園のことを知ってもらえるひとつのツールである。特に今年度は途中入園が多くおり、ホームページからも効果があったのではないかと。これからも引き続き幼稚園の様子や取組など発信できるようにしていきたい。 <p>取組内容①について、幼稚園は保護者・地域との連携を密にとっているとする項目について、「そう思う」「ややそう思う」と回答する保護者の割合は96%であった。</p>	
次年度に向けての改善点	
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も手紙、ホームページ、ポスターなど継続して保護者や地域に向けて発信していきたい。また大阪市立幼稚園のホームページがリニューアルされたので、新機能を活かして幼稚園のPRにつながるようにしていきたい。 	